



東
中
西
志
書
三

13
1367
8 止



門八家
1.367
3止

伊弉老衛門
湯嶋



夜野巻之三

新部伊記の初著

友の志れとるや、息揚の指羅シロより由平の御ミ後ノた
まひともゆと據コトをく名付ナり。

鎌倉カマクラモト攝座セツザ也。和訓ワクン付タル文字、古今差異ヲ示シ。

クラト云字。倉庫クラ藏座ザ轉錄 同シヨミナリ。上四

字心通へリ。カマクラハ井トコロヲカニユルトイフ字義ナ

レハ。攝座ノ心ナリ。亦カマクラカミ子ハ異イヘヲ埋ウメタル山也。鎌

ニハアラス。昇ノボト鎌カマト訓同ケレハ據コトレリ。其ノ類多シ和訓ワクンカミ

カマ共ニ同ヨミナリ。鎌ノ訓カマナルナレバ、カミトシルカナヘ也。釜ノ訓カマ

但馬
仲屋甚老衛門
湯嶋



夜聖卷之三

新部伊紀翁著

友の老れとるおや。息揚の瑞籬ミツカキより。由舟の御サト後サトた
まひ。とゆと攝カキをクラと名付たり。

鎌倉モト構座也。カキクラ和訓付タル文字。古今差異ヲホシ。

クラト云字。倉庫藏座鞍掠 同シヨミナリ。上四

字心通へリ。カニクラハ井トコロヲカニユルトイフ字義ナ

レハ。構座ノ心ナリ。亦カニクラカニ子ハ昇カキヲ埋カキメタル山也。鎌

ニハアラス。昇カキト鎌カキト訓同ケレハ謬カキレリ。昇ノ類多シ和訓。カニハ

カニ共ニ同ヨミナリ。鎬カキノ訓ツルナベコレモツルカナハ也。釜ノ訓

夜聖 卷之三 伊紀翁著

多き。いづれありや。やうく洗官とて。後々。その。し。り。の
前。右。兵。衛。佐。源。武。王。と。お。せ。う。を。あ。り。て。し。も。く。源。三。位
頼。政。入。る。重。幸。起。さ。さ。し。と。れ。も。く。の。ま。れ。空。旨。も。お
の。所。者。あ。り。し。と。し。あ。あ。う。と。お。せ。う。を。あ。り。て。し。も。く。源。三。位
思。議。の。所。あ。り。し。と。し。頼。朝。中。の。ま。れ。空。旨。も。お
さん。と。く。い。く。ま。め。を。は。し。と。し。神。壇。と。お。せ。う。を。あ。り。て。し。も。く。源。三。位
と。の。あ。り。始。り。お。せ。う。を。あ。り。て。し。も。く。源。三。位。の。ま。れ。空。旨。も。お
八。條。入。る。重。幸。起。さ。さ。し。と。れ。も。く。の。ま。れ。空。旨。も。お
と。ま。め。を。は。し。と。し。唱。へ。お。せ。う。を。あ。り。て。し。も。く。源。三。位
方。の。重。幸。起。さ。さ。し。と。れ。も。く。の。ま。れ。空。旨。も。お

補。正。し。ぬ。く。改。正。し。ぬ。く。鎌。倉。の。り。あ。り。て。し。も。く。源。三。位
私。の。所。と。始。り。し。と。し。頼。朝。の。ま。れ。空。旨。も。お
大。江。原。元。中。原。重。信。等。衆。の。大。多。助。信。吉。小。次。次。伏。見。官。者
あり。一。属。の。源。氏。と。し。と。し。格。式。依。り。し。と。し。源。三。位
曰。年。の。り。前。任。重。の。使。信。後。あ。り。て。し。も。く。源。三。位
合。戦。の。後。安。房。上。総。武。重。相。持。の。所。と。し。と。し。源。三。位
こ。の。り。の。り。し。と。し。頼。朝。の。ま。れ。空。旨。も。お
神。子。を。佛。と。し。と。し。頼。朝。の。ま。れ。空。旨。も。お
お。り。し。と。し。頼。朝。の。ま。れ。空。旨。も。お
の。業。将。軍。の。り。し。と。し。頼。朝。の。ま。れ。空。旨。も。お

若義重の息女。野上氏あり。野上と申す。さむくあしひれを免
るまふ。さむくとも自らあしひく。あしひくともさむくよりけりあしひけ
れ。父義重ふりさしひく。父毎の前との。野上と申す。野上氏と申す。野上
よあしひけりあしひく。野上氏といふ。野上氏と申す。野上氏といふ。野上氏
をいふ。野上氏といふ。又壽永二年。謙人の。野上氏といふ。野上氏といふ。野上氏
唐書と傳す。日本二年。謙人の。野上氏といふ。野上氏といふ。野上氏
あしひけりあしひく。野上氏といふ。野上氏といふ。野上氏といふ。野上氏
の。野上氏といふ。野上氏といふ。野上氏といふ。野上氏といふ。野上氏
の。野上氏といふ。野上氏といふ。野上氏といふ。野上氏といふ。野上氏
傳す。野上氏といふ。野上氏といふ。野上氏といふ。野上氏といふ。野上氏

儀のありまじりあり。後の中より。野上氏といふ。野上氏といふ。野上氏
。人始は。野上氏といふ。野上氏といふ。野上氏といふ。野上氏といふ。野上氏
を。野上氏といふ。野上氏といふ。野上氏といふ。野上氏といふ。野上氏
て。野上氏といふ。野上氏といふ。野上氏といふ。野上氏といふ。野上氏
けり。野上氏といふ。野上氏といふ。野上氏といふ。野上氏といふ。野上氏
と。野上氏といふ。野上氏といふ。野上氏といふ。野上氏といふ。野上氏
子孫。野上氏といふ。野上氏といふ。野上氏といふ。野上氏といふ。野上氏
す。野上氏といふ。野上氏といふ。野上氏といふ。野上氏といふ。野上氏
る。野上氏といふ。野上氏といふ。野上氏といふ。野上氏といふ。野上氏
可。野上氏といふ。野上氏といふ。野上氏といふ。野上氏といふ。野上氏

知へずのふかかしくあつたはのあつたを^{ツカサ}とぬとぬとみまれ
坪らゝふ。あは^{ツカサ}好むさうさよは結中^{ツカサ}やと^{ツカサ}わひ色うさる。
ひつる^{ツカサ}あつぬ世の中。しつる^{ツカサ}しつる^{ツカサ}か。うら^{ツカサ}な^{ツカサ}び。陰^{ツカサ}ひあこのは
いつとううぬまのふ。洗のる面^{ツカサ}あくる^{ツカサ}ゆき。北^{ツカサ}の傍^{ツカサ}とあか
は。お^{ツカサ}家^{ツカサ}の二^{ツカサ}代^{ツカサ}。鎌倉^{ツカサ}のありく。上^{ツカサ}の^{ツカサ}自^{ツカサ}志^{ツカサ}。記録^{ツカサ}
可^{ツカサ}く^{ツカサ}評^{ツカサ}定^{ツカサ}の^{ツカサ}し^{ツカサ}つ^{ツカサ}か^{ツカサ}り^{ツカサ}ま^{ツカサ}。^{ツカサ}その^{ツカサ}日^{ツカサ}次^{ツカサ}の^{ツカサ}山^{ツカサ}に^{ツカサ}持^{ツカサ}た^{ツカサ}あ^{ツカサ}り^{ツカサ}。が
と^{ツカサ}揃^{ツカサ}く^{ツカサ}あ^{ツカサ}る^{ツカサ}ま^{ツカサ}の^{ツカサ}い^{ツカサ}し^{ツカサ}の^{ツカサ}家^{ツカサ}あ^{ツカサ}り^{ツカサ}。で^{ツカサ}う^{ツカサ}の^{ツカサ}ま^{ツカサ}う^{ツカサ}は^{ツカサ}あ^{ツカサ}う^{ツカサ}あ^{ツカサ}ひ^{ツカサ}え
と。二位^{ツカサ}改^{ツカサ}子^{ツカサ}とあ^{ツカサ}の^{ツカサ}佛^{ツカサ}く^{ツカサ}う^{ツカサ}や^{ツカサ}ま^{ツカサ}い^{ツカサ}。お^{ツカサ}ま^{ツカサ}は^{ツカサ}ゆ^{ツカサ}ら^{ツカサ}よ^{ツカサ}い^{ツカサ}作^{ツカサ}る^{ツカサ}ん^{ツカサ}ん
や^{ツカサ}う^{ツカサ}い^{ツカサ}。女^{ツカサ}性^{ツカサ}の^{ツカサ}ち^{ツカサ}う^{ツカサ}あ^{ツカサ}く^{ツカサ}。武^{ツカサ}家^{ツカサ}の^{ツカサ}ま^{ツカサ}め^{ツカサ}や^{ツカサ}よ^{ツカサ}私^{ツカサ}あ^{ツカサ}く^{ツカサ}。故^{ツカサ}将^{ツカサ}軍^{ツカサ}ま^{ツカサ}は
か^{ツカサ}ら^{ツカサ}そ^{ツカサ}う^{ツカサ}持^{ツカサ}と^{ツカサ}ま^{ツカサ}じ^{ツカサ}と^{ツカサ}あ^{ツカサ}や^{ツカサ}う^{ツカサ}と^{ツカサ}ん^{ツカサ}ん^{ツカサ}。か^{ツカサ}ま^{ツカサ}し^{ツカサ}ら^{ツカサ}の^{ツカサ}妹^{ツカサ}あ^{ツカサ}ま^{ツカサ}。

かくてはくつたか^{ツカサ}い^{ツカサ}ひ^{ツカサ}は^{ツカサ}せん^{ツカサ}あ^{ツカサ}つ^{ツカサ}。せ^{ツカサ}め^{ツカサ}く^{ツカサ}あ^{ツカサ}ま^{ツカサ}は^{ツカサ}う^{ツカサ}や^{ツカサ}と^{ツカサ}う^{ツカサ}
の^{ツカサ}ゆ^{ツカサ}う^{ツカサ}に^{ツカサ}教^{ツカサ}え^{ツカサ}う^{ツカサ}と^{ツカサ}。ま^{ツカサ}の^{ツカサ}あ^{ツカサ}け^{ツカサ}う^{ツカサ}さ^{ツカサ}ふ^{ツカサ}う^{ツカサ}く^{ツカサ}。八^{ツカサ}幡^{ツカサ}殿^{ツカサ}う^{ツカサ}ら^{ツカサ}は^{ツカサ}け^{ツカサ}い^{ツカサ}ゆ^{ツカサ}り
あ^{ツカサ}ま^{ツカサ}う^{ツカサ}う^{ツカサ}だ^{ツカサ}く^{ツカサ}い^{ツカサ}つ^{ツカサ}物^{ツカサ}さ^{ツカサ}ま^{ツカサ}う^{ツカサ}さ^{ツカサ}く^{ツカサ}。結^{ツカサ}あ^{ツカサ}つ^{ツカサ}ん^{ツカサ}と^{ツカサ}ふ^{ツカサ}う^{ツカサ}く^{ツカサ}あ^{ツカサ}ま^{ツカサ}う^{ツカサ}一^{ツカサ}み^{ツカサ}か
ま^{ツカサ}い^{ツカサ}。三^{ツカサ}浦^{ツカサ}の^{ツカサ}あ^{ツカサ}ま^{ツカサ}う^{ツカサ}う^{ツカサ}女^{ツカサ}房^{ツカサ}の^{ツカサ}し^{ツカサ}さ^{ツカサ}あ^{ツカサ}ま^{ツカサ}。ま^{ツカサ}い^{ツカサ}ち^{ツカサ}う^{ツカサ}あ^{ツカサ}ま^{ツカサ}の^{ツカサ}
姫^{ツカサ}の^{ツカサ}ま^{ツカサ}よ^{ツカサ}。集^{ツカサ}の^{ツカサ}ま^{ツカサ}の^{ツカサ}め^{ツカサ}の^{ツカサ}い^{ツカサ}ゆ^{ツカサ}り^{ツカサ}。ま^{ツカサ}ま^{ツカサ}い^{ツカサ}ち^{ツカサ}に^{ツカサ}お^{ツカサ}の^{ツカサ}あ^{ツカサ}ま^{ツカサ}の^{ツカサ}あ^{ツカサ}つ^{ツカサ}く^{ツカサ}
ま^{ツカサ}ま^{ツカサ}り^{ツカサ}ゆ^{ツカサ}と^{ツカサ}。お^{ツカサ}お^{ツカサ}の^{ツカサ}ま^{ツカサ}く^{ツカサ}う^{ツカサ}あ^{ツカサ}ま^{ツカサ}ん^{ツカサ}。ひ^{ツカサ}ま^{ツカサ}さ^{ツカサ}ふ^{ツカサ}せ^{ツカサ}志^{ツカサ}は
は^{ツカサ}あ^{ツカサ}ら^{ツカサ}ま^{ツカサ}あ^{ツカサ}あ^{ツカサ}ま^{ツカサ}う^{ツカサ}い^{ツカサ}ま^{ツカサ}う^{ツカサ}め^{ツカサ}あ^{ツカサ}く^{ツカサ}。ゆ^{ツカサ}ら^{ツカサ}ま^{ツカサ}れ^{ツカサ}ぬ^{ツカサ}ん^{ツカサ}あ^{ツカサ}り^{ツカサ}や^{ツカサ}ま^{ツカサ}を^{ツカサ}
家^{ツカサ}ま^{ツカサ}う^{ツカサ}は^{ツカサ}う^{ツカサ}い^{ツカサ}や^{ツカサ}ま^{ツカサ}う^{ツカサ}の^{ツカサ}ま^{ツカサ}く^{ツカサ}う^{ツカサ}ま^{ツカサ}ゆ^{ツカサ}う^{ツカサ}い^{ツカサ}ん^{ツカサ}や^{ツカサ}ま^{ツカサ}あ^{ツカサ}ひ^{ツカサ}く^{ツカサ}。
か^{ツカサ}つ^{ツカサ}ら^{ツカサ}の^{ツカサ}う^{ツカサ}ら^{ツカサ}ま^{ツカサ}あ^{ツカサ}り^{ツカサ}。ま^{ツカサ}ま^{ツカサ}ま^{ツカサ}く^{ツカサ}ま^{ツカサ}あ^{ツカサ}ま^{ツカサ}あ^{ツカサ}つ^{ツカサ}の^{ツカサ}集^{ツカサ}ま^{ツカサ}。大^{ツカサ}將^{ツカサ}軍^{ツカサ}
の^{ツカサ}ま^{ツカサ}ま^{ツカサ}。あ^{ツカサ}ま^{ツカサ}と^{ツカサ}あ^{ツカサ}ま^{ツカサ}と^{ツカサ}し^{ツカサ}。か^{ツカサ}ま^{ツカサ}し^{ツカサ}ら^{ツカサ}の^{ツカサ}ま^{ツカサ}ま^{ツカサ}く^{ツカサ}あ^{ツカサ}ま^{ツカサ}う^{ツカサ}ま^{ツカサ}あ^{ツカサ}ま^{ツカサ}ま^{ツカサ}て^{ツカサ}。は

いそり。護り。と。あ。う。と。破。あ。と。と。い。い。と。と。房。方。の。女。房。あ。い。は。け。と。と。若。殿。も。あ。い。と。と。初。の。た。う。と。と。つ。ま。う。と。と。あ。い。と。と。二。位。殿。の。情。と。と。人。と。と。あ。い。と。と。あ。い。と。と。は。五。白。と。と。あ。い。と。と。子。と。と。あ。い。と。と。は。尼。山。の。い。と。と。あ。い。と。と。

是比丘貞ハ三浦駿河守幸村也。恭時ノ室。矢部禪尼ノ猶子。三浦義村カ子也。始貞幸ト名ツク。後幸村ト改ム。嫡子ヲ三村太郎貞村ト謂テ。貞ノ字ヲ忘レス。義村カ子ヲ尼御前ノカクムツニシウ表ミ給フコト其故アリ。兼久ノ思食立ノ折カラ。平九郎判官胤義ヲ深ク頼ミ仰

事蒙リシニ。兄ノ義村ヲカタラヒケレト。ナヒク心モナク。ソレ関東ノ平氏揚名目タルコト。右大將殿由緒深キ御被官ナルカ故ナリ。三浦一鶴元ヨリ。八幡殿ノ御惠淺カラス。揚名一ノ黨大助ト名ノル。カタク忠義トイヒ御恩ト云。其御流ヨリ外。主君ト思ヒ奉ル方有ヘカラストテ。義時ニ此旨ヲ告ル。兼久三年五月十九日酉ノ上刻ナリ。其日權太輔。伊豆ヨリ復狩ノ猪ヲ送り来リ。侍ノ見参人多キ中ヨリ。火急ヲ告テ。胤義カ内消息ヲ見セラレケル。義時涙ヲウカヘ今ニテ角ト知サリツルコソ不思議ナレ。宣旨ノ上ハ東國揚名家御被官ノ中ニモ。一味同心ノ者多カルヘシ。然ラハ義時ヲ

討テミイラセヨトノ事ナルヘシトテモ人手ニカ、ランヨ
リハ。御邊ノ手ニカケタニフテ。君ノ見奉^{ケザン}ニ入候ヘト。カヒツ
クロヒ給ヘハ。義村口惜^{ウツシ}クモヘタテラレ奉ルモノカナ。允^{ヨコフ}御命
ニカハルコト度々。中ニモ畑山^{ハタ}ホロホサセ給フトキモ。義村身
ヲ捨^ス六郎ヲ組フセ。建保二ハ一族共ノ恨^{ウラミ}ヲ捨テ御味方ニ奉ル
忠義併^ニ三代將軍ノ御形見ト思奉ル故ナリト。誓^{セイヤク}言立ラ
レケル。義時心トケ運^{ウツ}ヲヒラカレケルヨリ。義時フカクシタシ
ニ。尼將軍ノ御イタハリモ。餘^ヨニスクレケルトカヤ。幸^{ニキ}村ヲ貞
村トナサセラレシヲ。世ニハ比丘貞トソ申ケル
まゝ安之^{ヤシ}城々々系盤^{ケイバン}のむと先。恭時^{キヤウジ}表子^{ヒラコ}トて。右所^{ミダマ}討

氏^{ウヂ}は嫁^{ヨメ}せしむる。勾當^{コウドウ}及^{ヨリ}は^シは^シ。二位^ニ后^{コノ}の^ノ山^{ヤマ}。ゆ^ユの^ノれ
あり。勾當殿ハ内服女將ノ女丹後ノ内侍ト申
藤九郎盛長妻トス秋田城之助景盛ノ母也 夫^{トコ}と^ハ何^ニと^ハい^ハせ^ルと^ハい^ハす
ま^マと^ハい^ハす。又^{マタ}は^ハ何^ニと^ハい^ハす。の^ノあ^ハり^ハあ^ハり^ハ。と^ハい^ハす
ま^マと^ハい^ハす。世^ヨは^ハ何^ニと^ハい^ハす。の^ノあ^ハり^ハあ^ハり^ハ。と^ハい^ハす
ま^マと^ハい^ハす。故^{コト}將軍^ノ光^{ミツ}盛^ノ。あ^ハり^ハあ^ハり^ハ。と^ハい^ハす。の^ノあ^ハり^ハあ^ハり^ハ。と^ハい^ハす
ま^マと^ハい^ハす。今^{イマ}ハ^ハ何^ニと^ハい^ハす。後^{ノチ}の^ノあ^ハり^ハあ^ハり^ハ。月^{ツキ}日^ヒと^ハい^ハす。送^{オウ}か^フつ^ク。と^ハい^ハす。

ういさぬのほろあけ。さきさきあまのひもあらうとて。故敵の
 年のこと。物志あふらの地とあまのく形見あれい。あつ
 らふふれと。うさたあつてあつてあつて。目と拭ひあつて。
 ぐふ果結とあつてあつて。あつて又あつてあつて。あつてあつて。
 地とあつてあつてあつて。あつてあつてあつてあつてあつてあつて。
 あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて。
 のよふあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて。
 ともあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて。
 あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて。
 のあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて。

ういさぬのほろあけ。さきさきあまのひもあらうとて。故敵の
 年のこと。物志あふらの地とあまのく形見あれい。あつ
 らふふれと。うさたあつてあつてあつて。目と拭ひあつて。
 ぐふ果結とあつてあつて。あつて又あつてあつて。あつてあつて。
 地とあつてあつてあつて。あつてあつてあつてあつてあつてあつて。
 あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて。
 のよふあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて。
 ともあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて。
 あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて。
 のあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて。

の今ゆゑんはむりく世せしものも。うらぬ御方のさひ
 あはれ。あつとあつとよ女の子はなり形を縁ありま。あふの
 たりし。そまをさたの世をくらり中してうらふを。秘してう
 らあらん。物々むねをれく。そふんよんく。あまを
 か。いり物らん。そまをさた。世のあまを。人のあまを
 きう。いり物らん。そまをさた。世のあまを。人のあまを
 多くと。あふの。海と海と。あまを。二位教や。あまを。あまを
 そ。故將軍あまを。いり物らん。そまをさた。世のあまを。人のあまを
 似無。いり物らん。そまをさた。世のあまを。人のあまを
 あり。せま。あまを。二位教や。あまを。あまを。あまを。

とけしとてなう。頼嗣の正妻は。是利之内女。彌恭氏の
 室。いり物らん。そまをさた。世のあまを。人のあまを
 あり。

相模守時頼ハ童名戒壽丸。北條五郎兵衛トテ。武藏守
 康時ニハ孫。時氏ニ男也。兄弥五郎経時。後ニ是モ武藏守
 ト号ス。寛元四年四月病ニ因テ。子時頼ニ執權職ヲユ
 ツラル。三十ニシテ發心有ケレ共。時宗若カリケレハ。將軍
 家ノ沙汰ヲ免レタマハス。

北條左を將監。時頼ハ子。房乃宗。ハ世。あまを。人のあまを
 あり。せま。あまを。二位教や。あまを。あまを。あまを。

鉢指の用をこころしくあり。梵貝ボウカイ、象牙ゾウゾウの者。さうして修羅の時を
 若護ワコ、護法堂ゴホウダウ、護法園ゴホウエン、ひとことし魔軍マジクンの屯ムロとあり。ゆくゆくは
 あり。海士アヘの皆トコもあつてあつてあつて。子孫コソを抗コト推カしめて
 不フゆユふフあアるル。家ウチまマじジつツのノいイやヤらラむム。むムくクふフあアむムせセふフ信シん
 人ヒト。何ナニとトあアくクとトありリ。放逸ホウイツの信シんノとトゆユくクいイとトあアるル。あ
 るル。益ホシとトさサくクくクのノふフとトあアつツてテ。あアつツてテはハあアつツてテ。あアつツてテはハ
 和尚ニカベひヒくクをシめメてテいイひヒふフをシめメてテ。あアつツてテはハあアつツてテ。あアつツてテはハ
 長生ニカベはハ四シ師シ入ニるル。和尚ニカベひヒくクをシめメてテいイひヒふフをシめメてテ。あアつツてテはハ
 後アト堀ホリ河カハ院イン。貞マコト徳トク元ゲン年ネンらラりリ。右ミダ掌サイ府フとトありリ。高タカ形カタはハたタらラりリ。

けく。宋ソウ西セイはハこコらラりリ。徑キョウ山サン寺ジ。毎ミ準ジュン行ギョウ脚キョクはハゆユくクをシめメてテ。あアつツてテはハ
 ありリ。言コトをシめメてテいイひヒふフをシめメてテ。あアつツてテはハあアつツてテ。あアつツてテはハ
 の字ナリをシめメてテいイひヒふフをシめメてテ。あアつツてテはハあアつツてテ。あアつツてテはハ
 了リョウ法ホウ院イン。寛カン元ゲン二ニ年ネン。帰キ船センとトありリ。常トコ法ホウのノゆユくクをシめメてテ。あアつツてテはハ
 何ナニとトあアつツてテ。あアつツてテはハあアつツてテ。あアつツてテはハ
 てテ。いイひヒふフをシめメてテ。あアつツてテはハあアつツてテ。あアつツてテはハ
 子コ。あアつツてテはハあアつツてテ。あアつツてテはハあアつツてテ。あアつツてテはハ
 移シるル。ゆユくクをシめメてテ。あアつツてテはハあアつツてテ。あアつツてテはハ
 とトあアつツてテ。あアつツてテはハあアつツてテ。あアつツてテはハ
 了リョウ二ニとトありリ。あアつツてテはハあアつツてテ。あアつツてテはハ

鎌倉よりして後のはまはらふ。こころをわたり。佛と飾る
 ちよの世を授けり。妙なる。世にあらふ。やはらふ。
 ころらぬ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。
 業あり。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。
 むき。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。
 かき。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。
 結。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。
 内。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。
 亦。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。
 一。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。

とて。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。
 行。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。
 今。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。
 と。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。
 必。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。
 て。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。
 と。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。
 る。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。
 こ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。
 り。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。

如きくまきく人旅志むり。素敵のあせ見れんかものなり。
 馬路とまきくあつて。偶人なまきく諸ふらた。ては雲の象
 涌りつう。やどき旅あつた。事のふ志をうあつた。
 似たり。顔射の準と同朋して。振るあふ。き後と金沢めんふ
 似と。めく久きうのあふと。さむと。又母の敵居や
 とよあつた。と兼好は所念はふなり。素敵は敵一とたの
 兼好のうれをきりあつた。むう。かむ。母のあつた。
 内はと傳へ渠きまり。なふ。なふ。うの。にもの。なふ。
 うか。せんをさるあ。住子の情と。敵よ。りは。を。た。く。先
 る。あつた。列子のや。と。む。て。む。て。む。て。む。て。む。

事なり。むらつて。つう。く。を。と。む。て。む。て。む。て。む。

あり。素敵のけい。と。あつた。うの。お。お。は。流。む。つ。て。く。

かい。むら。抱。き。推。し。あ。つ。て。く。う。く。さ。か。ん。の。う。は。あ。つ。て。

けい。むら。後。敵。破。車。の。顔。者。あり。う。く。素。敵。は。似。たり。

と。ゆ。ま。く。海。に。和。尚。と。ま。り。素。敵。の。や。ぶ。と。車。の。る。紙。あり。

推。し。く。ぬ。う。り。世。の中。と。ひ。つ。む。と。先。く。か。め。弱。車。の。是。弱。車

破。せ。く。ゆ。と。推。し。く。推。し。く。推。し。く。推。し。く。推。し。く。

と。つ。う。つ。い。の。あ。つ。た。ら。は。ゆ。と。の。い。つ。海。の。あ。つ。た。ら。は。

あり。あ。つ。た。破。せ。く。破。せ。く。破。せ。く。破。せ。く。破。せ。く。

と。つ。う。つ。い。の。あ。つ。た。ら。は。ゆ。と。の。い。つ。海。の。あ。つ。た。ら。は。

五ノ目 卷之三 三十一 春水堂藏

寶曆壬午歲秋九月

平六書坊

瀨尾源兵衛 發行

久々の玉像くまがらまはと瑞神みろくしの甚あつ山やま前まへ
 ながひー束たば後ごす。御み下した玉たま其その水みづの玉たま也
 乃物語なうものがたり之の峯ねの元もと流ながりきまるか漢かん倭まつ
 何なに事こととしいはまて人ひとの世よれあらまるも母はは
 多おほくあらわりの後ご。造つく松まつのしとかく
 此このいふはらの後ご念ねんのうらかぬえらる。
 亦また此このいふはらの書かきとらる水堂みづどう以もて後

膚とれんらむらゝの秋ハラの露
 の香はほまれよもばらら又と露の
 日の風はまよふや梓中^{ちりうち}携てせむら
 らまんとて紙わつ交^{まじ}敷^{ひら}り福の^{ふく}海^{うみ}よ
 思ひしらぬみつづきの弟^{てい}成^な深^{ふか}らま
 し紙袖ありやありとく。予^こ中^{ちゆう}ま^まりさね
 しかならぬ。若^わ君^{きみ}の^{こころ}浄^{じやう}祖^そ中^{ちゆう}懐^{くわい}とま

葉くせ成^なつる免^{めん}も瑞^{すい}成^な成^な
 守^{まも}んもはもとふと性^{じやう}昔^{せき}の^{しん}中^{ちゆう}に
 を^を行^ゆくの^{こころ}ま^まれし^しもの^{もの}好^{この}む^む成^な成^な
 巻^{まき}の^のわ^わく^くま^まま^まる^るし^した^たな^なと^とく^く湯^{たう}浅^{せん}
 氏の^のあ^あが^がぬ^ぬ露^るや^やら^らら^られ^れた^たひ
 う^うく^くま^まれ^れん^んほ^ほら^らん^んの^のあ^あま^まま
 月^{つき}成^なか^かぬ^ぬあ^あら^らん^んあ^あ甲^かを^を辭^{こと}成^な成^な

